

令和 6 年 12 月 23 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称… 小規模多機能型居宅介護 ほっと

サービス種類… 小規模多機能

会議開催日… 令和 6 年 12 月 12 日

開催場所… ほっと

出席者

事業所	3 人	利用者	0 人
利用者家族	0 人	地域代表者	2 人
松江市職員	1 人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	1 人	その他 ()	0 人

議事

活動状況報告

【 10 月 】

登録者数 16 名 (男性 2 名・女性 14 名)

平均年齢 87.4 歳 平均介護度 2.0

- ・行事(花見ドライブ／川津 秋桜) (秋祭り)
- ・作業 (芋ずる皮むき)
- ・作品レク (银杏 紅葉 来年の干支など)
- ・事故報告 1 件 (情報漏洩／情報提供書の誤送信)
- ・委員会 (感染蔓延防止委員会／防災委員会)
- ・研修 (地域包括支援センター 高齢者虐待の現状)

【 11 月 】

登録者数 16 名 (男性 3 名・女性 13 名)

平均年齢 88 歳 平均介護度 2.1

- ・作品レク (雪だるま サンタ Xmas など)
 - ・ヒヤリ・ハット 1 件(転倒／88 歳 女性 介 3)
 - ・研修 (介護における倫理と法令遵守について)
- (「～したい」の実現、ケアプランの重要性)

議題

「虐待研修後のほっとの取組み」について

◎水道をかまわれ洗面台やトイレの水を流し放題にされる、エレベーターをかまわれる、かまいすぎて壊されるなどのご利用者の対応 (行動の制限、言葉掛けなど) について、また、本人様の『喧嘩をした』などの何げない会話や皮下出血を確認した時などには虐待の可能性も視野に入れ、職員間で情報を共有し様子観察を行っている事を説明、意見を伺う。

◎児童クラブに関わる委員さんからの『おもちゃの片付けなどで怒るのは虐待に当たるのか』との質問あり、しつかけ虐待かという点で話し合い、虐待ではないが些細な事が積み重なり虐待となる事が多いなどの意見あり。

◎知見を有する委員さんからの『始めは理解しても次から次へと繰り返し、言っても難しく毎回怒ってしまう。本人は分かっているようでも分かっていない為、本人のストレスにもなる。認知への理解と見守りの必要性を感じた』との体験談を聞き、言葉掛けの大切さ、本人に寄り添った対応が重要となる事などの意見交換を行う。

○前回の推進会議で出た意見に基づき、交番の方に現状を把握していただき、時々巡回をしてもらう事となる。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○